

MARCH 1993 VOL.59

ARAI NEWS

ヘルメットのフォームをデザインするのはデザイナーにとって頭痛の種です。出発点は人間の頭になりますから、その頭のカチカチをできる限り尊重しなければなりません。まして角張ったり、出っ張りのあるデザインでは、万一の転倒の際に、ヘルメットが地面を滑らずに引っ掛かってしまう恐れもあり危険です。



特にオフロードでは、相手がアスファルトの路面ではなく、泥面なので、オフロードタイプ特有のアゴ部が突き出たようなフォームでは、転倒の仕方によっては、アゴ部が泥面に突き刺さってしまい、首をやられてしまう可能性がさらに高くなります。



アライがMXシリーズで、マウスガードを採

用しているのは、顔の形状にマウスガードの位置を合わせられるだけでなく、泥面に顔面から突っ込んだ際に、必要以上の力が加かった時に、柔軟性のあるマウスガードが変形して、首への影響を逃がす安全面での理由を第一に考えての事なのです。



もちろんオフロードタイプでもアゴ部分まで一体にすれば、剛性面では優位な点もありますが、MXのような形状が前提だと、首への影響を考えアライとしては、発売に踏み切れませんでした。もちろん、オフロード用であっても、オンロードタイプのようにアゴ部がなめらかでいいなら躊躇なく発売していた事でしょう。



ところで、上の写真はヘルメットの下側から撮ったものです。右はアストロFSですが、左は、来月発売させていただく、全く新しい

ジャンルの新製品です。



この新製品をまだお見せできないのは非常に残念なのですが、今までのアライ製品からは、考えられないような斬新なスタイルの新製品です。ちょっとだけお話ししますと、実はオフロード用でもあるのです。



しかし、アライの出す製品ですから、表面上はどんなに斬新な形状をしていても、写真を御覧になっていただくとお分かりの通り、ヘルメットを下側から見ると、右のアストロF

Sとも大きく違わないなめらかな形状をしています。なぜならば、首への影響を最小限に食い止めるなめらかなフォームは、ヘルメットのデザインの基本であるとアライでは考えているからです。



安全面では、押さえるべきところは全て押さえ、なおかつバイクライフを豊かに広げる可能性を持つ注目の新製品は、来月にはお見せできるはず。是非ご期待下さい。

フォームが斬新だからこそなめらかさが大切なのです。

(株)アライヘルメット
 〒330 埼玉県大宮市東町2-12
 TEL(048)641-3825~7



●アフターサービスの窓口は品質管理課です。
 製品の事なら、お気軽にご相談ください。
 直通 TEL (048)645-3661